

第2章

ネットワークがつなぐ
コミュニケーション

第1節 メディアとコミュニケーション

- メディアの発達やオンラインコミュニティの特性について理解しよう。

1 メディアの発達

メディアとコミュニケーション手段の変化について理解しよう。

[5]

① メディア

media :

ラテン語の「中間の」を意味する言葉が語源で、媒体という意味。

メディアのさまざまな意味

メディアという言葉は、いろいろな意味で用いられている。

● 情報を記録するもの

例: 「データはメディアに保存しよう。」

● 情報を伝達・通信する手段

例: 「電子メールより電話のほうが確実性という意味では優れたメディアかもしれない。」

● 情報を表現する手段

例: 「音声よりも映像のほうが、メディアとしては表現力が豊かだと思うよ。」

● 報道機関

例: 「メディアの情報をそのまま信⽤してもいいのかな?」

② 活版印刷

文字の版をつくり、スタンプのように押しつけることで紙に文字を印刷する方法。

情報の記録・伝達の歴史



[5]

[10]

[10]

[10]

[10]

[10]

[10]

[10]

[10]

[25]

通信技術の発達

電波や光などを用いて、記憶媒体を使わずに直接情報を遠くに伝える技術も発達してきた。情報をデジタル化することにより、より正確に、早く、広範囲に伝えることができるようになってきた。

伝達・通信方法の歴史



コミュニケーションの変化と個人の責任

わたしたちはコミュニケーションを行う際、さまざまなメディアを用いている。メディアの発展により、わたしたちは多くのコミュニケーション手段を手に入れた。

携帯電話はいつでもどこでもコミュニケーションがとれる手段の一つである。電子メールやブログ、SNS、テレビ会議なども広く利用されるようになった。これまでテレビや新聞といったマスマスメディアにしかできなかった、多くの人に一斉に情報を伝達することも、インターネットを使えば誰もがすぐに実現できる。

いっぽう、大量の情報がインターネットを通じて流れることで、それらの情報の中から必要な情報を適切に選択し受け取る、受け取った情報の正確さを吟味し利用するといった、情報受信者としての責任や判断力が、一人ひとりに問われるようになっている。また、発信する内容の正確性、発信してはいけない情報の判断、発信した情報による影響の大きさなどを考える情報発信者としての責任や判断力も、一人ひとりが身につけておかなければならない。

新しいコミュニケーション手段はとても便利だが、それを使えない人には情報が伝わらなくなる。どの手段をどのように使えばより効果的に伝わるのか、考えなければならない。

モールス信号

モールス信号は、文字を符号化して電気信号にのせたもの。短点(・)と長点(—)の組み合わせでアルファベットや数字などを表現する。

例

A: - - - B: - - - -

E: - - T: -

I: - - - Z: - - - -

③ マスマスメディア mass media

実習

20

現在の携帯電話に至るまでの電話の進化の過程、生活やコミュニケーションの変化を調べてまとめよう。

PRACTICE